

第3回家庭学級教育

～音楽を通した「共感」から生まれるもの～

📖TOPIC

- 1、音楽を演奏したり聞いたりしているとき、頭の中では何が起きている？
- 2、幼少期に音楽に取り組むメリット
- 3、共感の種類
- 4、音楽を通した共感

📖KEY WORDS

fMRI（磁気共鳴機能画像法）、神経の可塑性、Sympathy – Empathy – Apathy、自己表現

📖MEMO

<本日の演奏曲>

♪ 愛の挨拶 . . . . . E.エルガー (1857-1934)

♪ 「イタリア組曲」より序奏 . . . . . I.ストラヴィンスキー (1882-1971)

♪ 白鳥 . . . . . C.サン＝サーンス (1835-1921)

♪ 夢のあとに . . . . . G.フォーレ (1845-1924)

♪ 文楽 . . . . . 黛敏郎 (1929-1997)

♪ チェロソナタ第2番ト長調 作品5-2 . . . . . L.v.ベートーヴェン (1770-1827)

第1楽章：Adagio sostenuto e espressivo – Allegro molto più tosto presto

第2楽章：Rondo. Allegro

<演奏者プロフィール>

○谷口 賢記 (Masanori Taniguchi, *cello*)



4歳にてピアノ、18歳にてチェロを始める。京都大学理学部卒業、同大学院理学研究科にて時間生物学を専攻し修士課程を修了。その後、ボストン音楽院へ留学、同院より音楽修士号を取得後、全額奨学生としてディプロマを取得。CMFoNE第1回国際室内楽コンクールで第1位に入賞するなど受賞歴多数。現在は東京を本拠地とし、国内外で多様な演奏活動、指導活動、青少年育成活動を展開しながら、他分野の芸術とのコラボレーションにも力を入れている。東京藝術大学「Arts Meet Science」プロジェクトコーディネーター。スタイナート主宰。ラインハイト室内楽アカデミー講師。全日本ピアノ指導者協会正会員。公式HP<cellotaniguchi.com>

○高鳥 舞 (Mai Takatori, *piano*)



東京音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。在学中、International Piano Week(Wavre-Belgium)に参加。第10回横浜国際音楽コンクール入選、第22回日本クラシック音楽コンクール入選等。2015年、2017年、2018年ソロリサイタルを開催。宇都宮美術館企画展イベントに多数出演。「音楽と映像で楽しむ絵本朗読会」、「音楽と朗読の午後」等で音楽制作・演奏を担当し、好評を博す。小山音楽家協会会員。これまでに小久保素子、石附秀美、野中正の各氏に師事。現在、ソロや室内楽などの演奏活動を行うほか後進の指導にあたっている。



保護者の皆さま



平成30年12月吉日

PTA会長 原 牧子  
文化厚生委員長 天野 香理

### 第3回家庭教育学級 報告だより

11月21日(水)、チェロ奏者の谷口賢記先生とピアノ奏者の高鳥舞先生をお招きし、本年度最終回となります第3回家庭教育学級を開催致しました。

当日、赤堤小学校多目的室は、70名の保護者の方々がお集まりくださり、関心の高さが伺えました。「音楽を通した“共感”から生まれるもの」というテーマで、幼年期に音楽に取り組むメリットや本格的な楽曲を用いたトークコンサートを行って頂きました。

講師お二人のご紹介に続きウェルカム演奏が始まると、皆さま、チェロとピアノの音色に惹きつけられ、会場内の期待が一気に高まりました。前半では、高鳥先生の音楽人生における実体験を織り交ぜながら谷口先生によるご講義をご教授いただきました。

休憩をはさみ、後半ではチェロとピアノの演奏会を中心に音楽の楽しみ方をご教授いただきつつ、たっぷりと心に響く演奏を披露していただきました。聞きどころを押さえ、よりいっそう演奏曲を楽しめる内容となりました。なかでも、黛敏郎「文楽」はチェロの独奏にも関わらず、三味線など和楽器を思わせるような音色が絶妙に表現され、その素晴らしさに会場内が一気に惹き込まれていました。

～当日の様子～



船山校長先生と世田谷区教育委員会生涯学習・地域学校連携課の藤本先生にもご参加いただき、「音を楽しむ」ことに共感されているお姿が見受けられました。ご参加、ありがとうございました。

また、今回は演奏会も含められるため「ひととき保育」を実施致しました。4名のお子さまをお預かりし、ご利用者のなかにはご夫婦での参加もありました。小さいお子さまをお持ちの方はゆっくりと音楽に触れる機会が少ないかと思いますが、今回のように家庭教育学級の開催を通じてホット一息ついていただき、今後においても、より豊かな子育てが広がるよう期待しております。



～参加者アンケートより～ (一部抜粋)

- ・演奏して頂いた曲と「音楽を通した共感」が連動していることが分かりやすく面白かったです。何とも贅沢な時間でした。
- ・音楽と脳の関係のお話は、大変興味深かったです。「文楽」の演奏は、チェロ一本で和楽器を感じられてとても面白かったです。生演奏はやはり素晴らしいと思いました。子どもたちにも、もっと生演奏を聞く機会を増やせたらと思いました。とても楽しい時間でした。
- ・あっという間の時間で、現代音楽の「文楽」が衝撃でした。何名もの演奏者がいらっしやるような分厚さを感じました。素晴らしい演奏で得た“共感”を少し家に持ち帰って、何に生かせるか考えてみたいと思いました。
- ・今までにない角度から音楽を聞きましたが、弾く方はもちろんですが聞く側がイメージや気持ちを持つことで全く違うものになるのが新鮮でした。子どももピアノを習っているので、子どもにもこんな授業があったらいいなと思いました。

他にもたくさんのご感想を頂き、ありがとうございました。すべてご紹介できず申し訳ございません。これを持ちまして、本年度の家庭教育学級を閉級致します。ご協力くださった全ての皆様から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。